

令和7年度
介護労働講習（実務者研修を含む）

実施期間 6月17日～11月25日



～私たちは介護のプロを応援します～

（公財）介護労働安定センター
神奈川支部



掲載している写真・氏名等の個人情報につきましては、予めご本人の承諾を得て掲載しています。

修了おめでとうございます



修了者へ贈る言葉

修了生の皆様

「介護労働講習（実務者研修含む）」修了おめでとうございます。

介護労働講習の修了式を46名で迎えることができましたこと、誠に喜ばしく、最後まで本講習を信じて受講いただき、ありがとうございます。

今ここから次のステップに進むための新たなスタートラインです。皆さんは、再び力強く前に進んでいただきたいと思います。本講習の“修了”は皆さんそれぞれが努力された成果です。次の目標もチャレンジして進んでいけるはずです。現在、就職活動中の方は一層気を引き締めて、もうひと踏ん張り！心から応援しています。

就職やキャリアアップなどについての支援もしますので、ご相談ください。

介護労働安定センターはこれからも介護労働講習を実施していきます。皆さんには介護労働講習の修了者として、介護職の先輩として、いつかこの講習で後輩にアドバイスなどいただければ幸いと存じます。

おわりに、円滑な講習が運営できましたことについて感謝申し上げるとともに、皆さんの今後益々のご活躍とご健勝を祈念してご挨拶とさせていただきます。

神奈川支部長



講習風景

開講式

令和7年度は46名の受講生が集い、6か月(105日間)の講習が始まりました



座学講義

実務者研修等の科目を専門講師による座学授業で学びます



医療的ケア

座学のほか、実技演習による講義も実施
現場で活かせる専門的な技術も習得できます



講習風景

生活支援技術Ⅱ,介護過程Ⅲ

福祉用具を用いて介護技術を学び
現場実習やその後の就職に活かします



就職支援

働く方の講話、求人票の読み方や履歴書の書き方、
介護事業所を集めてのチャレンジ面接会等を実施



実践講習

レクリエーションや現場実習など、様々な
カリキュラムで介護現場の楽しさを学びます



講習を終えて

今年は46名が講習を修了し、それぞれの道へ進んでいきました。
修了者の感想をご紹介します。

座学では、方法ではなく理念を教えていただけたことが大きな経験になった。

介護職として必要な知識や技能を得られたことも大きいですが、これから介護職を目指す仲間巡り合えたことが何よりも嬉しかった。

親の介護をしたこともなく、まったくの未経験でしたが、手に職をつけて長く働きたいと思い、この講習を受講しました。講義の内容は濃く、知らないことが多々ありましたが、講師の方々の分かりやすい説明のお陰で楽しく続けることができました。

開講式の日にしおりを見た時にテストやレポートが沢山あって最後まで通えるか不安でしたが、仲間と支え合い、修了することが出来ました。

ここで出会えた仲間は一生の宝物です。6か月で学んだ知識を最大限に生かせるよう頑張っていきたいと思います。

6か月の講習を振り返ると、年齢差のある受講者の方々と一緒に学ぶ事でお互いに刺激を受けながら楽しい関わりを持つことができました。

世代を超えて支え合いながら学べたことが印象に残っています。

自分がやりたい仕事と思って定年を機に飛び込みました。

期待に胸を膨らませ講習に入り、皆の助けを借りて、また講師の方々にも助けていただいて無事に修了できました。

これから現場で実践できるように頑張ります。

「介護とはどういうものか」の考え方の基礎を学ぶ事ができました。

「現場実習で学びをどう使っていけるか」を考えることができました。

勉強、勉強の6か月間でした。達成感でいっぱいです。

就職先を訪ねて



令和3年度年度修了者
加藤 智 さん

いきいき福祉会
特別養護老人ホーム ラポール三ツ沢
介護職員（4年目）

介護労働講習を受講するきっかけは？

前職では、工事現場の検査業務を仕事としていました。前職を終えた後、家族からこの講習があることを教えてもらいました。学生時代、保育士になりたいと思ったこともあり、福祉に関わる仕事も興味がなかったわけではありませんでした。そうした背景もあり、介護の講座を受講してみようと決断した部分もあります。また、兄弟が介護職として従事していたこともあり、後押しをしてもらえたのも大きかったです。

この講習をハローワークで説明され、さらには実務者研修の資格も取得できることから介護事業所での就職が現実的に感じました。

講習で学んだことや講習内容などについてのご感想は？

105日間という講習期間の長さには最初は「続けられるだろうか」と不安になることもありましたが、それでも、講師の方々が上手に講義を進めてくれることにより、ディスカッションや考えるワークもあり、内容も理解がしやすかったです。レクリエーションの講義では、受講者同士での関係性がグッと近くなり、笑顔の絶えない雰囲気でも過ごせたことも印象的でした。

また、当時の講師の一人が現施設長でした。その頃から働き方などの相談をしていたことが今では良い縁となっています。

実際に介護の仕事に就かれた感想は？

実は最初に就職を決めた事業所は1年未満で退職してしまいました。

就職活動の際、自分に合う介護サービスが明確でないまま職場を決めてしまったことも理由の一つです。そのことから、自分の思い描く働き方を見つめ直す機会となりましたが、引続き介護業界で働きたい意思は変わらず、身内の縁で今の事業所に転職することとなりました。入職に際しての面接では、仕事の話よりも人柄やコミュニケーションを大切にしているとのことのお話しが施設長からあり、雰囲気や働き方が自分にも合っていると感じました。

仕事は、働き方も異なり大変に感じることもありましたが、職員の方々の雰囲気も良く、気軽に相談できる環境がありました。お陰で、少しずつ経験を積み、最近は視野を広げてご利用者様の次の行動や危険予測を行いながらのケアができていると実感しています。

これから受講される方へメッセージをお願いします

自分のモットーは「笑顔で生きる」です。

ご利用者さまにも1日1日を笑顔で過ごしていただきたい。仕事は楽しいことばかりではありませんが、「少しでも笑顔で楽しくいてほしい」と考え日々の生活に関わっています。

最初に就職した事業所は、1年未満で退職してしまったので、恥ずかしい気持ちもありましたが、今ではラポール三ツ沢で4年目を迎えられることを考えると、結果として良い選択だったと思っています。みなさんも、これから介護労働講習を受講する仲間と一緒に困難なことの乗り越え方を見つけて、自信をつけて、介護の世界に来ることを待っています。

事業主様から一言



いきいき福祉会
特別養護老人ホーム
ラポール三ツ沢
施設長 鈴木 正貴さん



に修了者の働きについて伺いました

職場の特徴、魅力について

社会福祉法人いきいき福祉会は、「市民が設立した、市民のための、市民の社会福祉法人」です。そのため、高齢者介護だけではなく、地域に目を向けた取り組みとして、生活困窮者自立支援や就労準備支援、居住支援などの社会課題についても取り組んでいます。

介護事業は、藤沢市で入所施設から初め、居宅介護支援、デイサービス等の各種サービスを包括的に取り組みながら、拠点を横浜市にも広げて活動しています。

ラポール三ツ沢は、昭和世代の方々がビートルズを聞き、ワインやカクテルを楽しむためのバーカウンターがあるのも特徴です。「暮らし」が中心にあるというコンセプトを非常に強く意識しています。

普段の仕事ぶりはいかがですか？

加藤さんは一言でいえば「真面目」です。モットーの「笑顔で生きる」を大切にしつつ、仕事は「真面目」です。ご利用者様と向き合い、一つずつを大事にしています。

普段は職員とマンツーマンで話し合う機会は多くありませんが、ユニット内での申し送り事項や報告は記録システムを通じて把握していて、よくご利用者様の観察をしていることが分かります。

また、腰痛を発症した際には個別面談を定期的におこない、長期休業をして完治するように目標を立てました。休養と治療により、現在では職場に復帰して、また活躍してくれています。

これから受講される方へ介護に関するメッセージをお願いします

「105日の講習期間が長い」とは思いません。私はむしろメリットだと感じています。エビデンスや時代背景、「なぜそのようなケアをするのか」まで丁寧に学べる機会は貴重です。働き始めると、学びの時間を割くのはなかなかできません。これから介護の専門家として働く長い時間を考えれば、決して長くありません。

無資格未経験でも、専門学校卒でも現場に入れば皆スタートは同じです。経験の有無を心配する必要はありません。大切なのは「学びを深める気持ちと人間性」です。

介護労働講習で学びを深め、介護の専門家として活躍されることを期待します。当施設は秋祭りを行っています。ぜひ、介護の雰囲気味わいに来てください。

